

## 令和4年度 地域おこし協力隊活動中間報告

根羽村地域おこし協力隊 山本英介

## 【活動の目的】

「交流と学び」「共有と議論」を通して  
地域と林業の  
将来像（ビジョン）、はたすべき役割（ミッション）、生み出すべき価値（バリュー）  
を明確にし、関係者と協力して取り組める体制を作っていく。



現在は「交流と学び」のフェーズ  
交流の中で要望・依頼があれば「進んで協力していく」スタンスで活動

## 【活動内容報告】

## &lt;山村留学親子体験サポート&gt;

山村留学家庭の皆さんから「親子で根羽村ならではの体験がしたい」との要望があり、企画開催のサポートをしている。



茶白山ハイキング、森林組合見学（現場・製材）、展望ウッドデッキづくり（老平プレイスメイキングプロジェクトの一環）、アロマ蒸留ワークショップなどを開催。



山村留学以外の根羽村や他地域のご家庭の参加、信州山保育認定園「野あそび保育 みっけ」の皆さんに森林組合見学に来ていただくなど、交流も広がっている。



今年度は、酪農・ヨーグルト工場見学、陶芸の里見学、郷土資料館大掃除と郷土史勉強会などを計画し、地元の皆さんにも協力をお願いしている。



山村留学の満足度向上、安城市に帰ってからの根羽村との関係維持にもつながることが期待できるため、来年度以降も実施していきたい。

## &lt;三村協力隊交流&gt;

南信山間地域として課題を共有する平谷村・売木村・根羽村の協力隊交流をスタートさせた。定期的なミーティングと不定期のイベント開催などでお互いの活動をサポートし合える関係を作っていく。



立ち上げ交流イベント「あてび平散策と火おこしランチ会」開催済み。3村から20名以上参加。主催と森林ガイドを担当した。また平谷村の児童向けプレイパークづくりに長野県林業士としての協力要請をいただき、組合職員丹羽さんと共にジップライン設置指導を行なった。



浜松市で里山体験・環境教育活動をやっている「里の家」代表加藤さんに協力していただいている。指導をあおいている。売木村協力隊赤土さんが関係人口創出をテーマにしているため、下流域都市部と連携した活動も視野に入っている。



売木村で協力隊が運営する交流スペース「岡田屋」にて定期ミーティング「3村茶会」を実施中。情報交換・共有と今後の活動について話し合っている。

### <ツリークライミング>

協力隊予算を使って資格取得とギア購入をさせてもらっている。



ハッピーマウンテン幸山氏の依頼により、お試し体験会を実施。根羽村の3家庭親子に体験していただく。天気も良く秋のハッピーマウンテンをのんびり堪能でき、好評だった。幸山氏もハッピーマウンテンの定番アクティビティとして取り入れたいとのことで、継続的な開催を依頼されている。



差し当たっては、子供だけでなく大人も楽しめるという特性を活かして村内住民向けに木育・交流の場として開催していく。また新たなツリークライミングのフィールドを開拓・整備していく。参加者に技術を学んでもらいアシスタントができるようになってもらうなどして楽しくメンバーを増やしていき、対外的な自然体験メニューとして発展させていきたい。ギアなどもメンバーで自由に共有・使用してもらいたいと思っている。



来春のファシリテーター資格取得のため、練習と体験会への参加を積極的に行っていく。

### <ツアー等のプランニング>

#### ・飛騨五木視察

民間企業としてトータル林業に取り組む高山市「飛騨五木グループ」視察を森林組合職員、長野県林業士、各地域おこし協力隊合同で開催。組合職員の交流と学びの場として企画した。詳細は事業報告書参照。



飛騨五木の事業の取り組み方に関して得られた学びの成果として、「森林組合ビジョン策定会議」を発足。年度内のビジョン策定を目標に職員間で議論を進めていきたい。また飛騨五木さんとは木育・人材育成事業などで今後協働の可能性も考えられる。

・キッズフォレスター構想

これまで森林組合で取り組んできた木工体験などの木育イベントだが、イベントでできた関係を持続的にしていきたいとの思いから、資格制度（キッズフォレスター制度）の導入と来村しての自然体験への誘導プランを考えている。詳細は「森林組合だより」参照。



6月に開催したアンフォーレでのイベント「あつまれねばのもり」参加者で、配付したレポートを郵送提出してくれた方45名にキッズフォレスター認定証を送っている。



資格制度の仕組みづくりは相当の時間がかかると思われる。まずは来村体験コンテンツの開発を急ぎたい。また木育活動の大きな課題である収益事業化も目指す。

・水源の森活用計画立案

安城市と根羽村の矢作川水源の森環境育林協定締結によって、新たに「安城市民への還元」、「SDGsへの貢献・啓発」を目的に掲げた水源の森の今後の活用計画立案が始まっている。



計画立案に関して、交流のあるエコネットあんじょう理事より協力依頼をいただいている。また水源の森活用に関する新市民団体にも立ち上げメンバーとして参加させていただいている。



これを機に安城市民との交流をさらに深め、安城市民と根羽村民の下からの意見をすくい上げ、森林組合職員として具体的な施業提案を行政に対して提示できるような体制づくりをしていきたい。

<資格>

今年度取得済み

・ツリークライミングMRS3 ・森林インストラクター



今後取得予定・希望

・ツリークライミングファシリテーター ・自然再生士（森林インストラクターが受験資格となる）  
・野外救急救命 ・森林施業プランナー ・樹護士アーボリスト

### 【協力隊活動期間延長希望と今後の計画について】

以上のように、林業、木育・環境教育、自然体験などを通じた地域の自然環境への関わりを中心に「交流と学び」の活動を行っており、徐々に「共有と議論」のフェーズに移行しつつある。

令和2年の着任当初より森林整備業務と並行してまず交流を中心とした協力隊活動を計画していたが、

- ・ 新型コロナウイルス感染拡大にともない令和2～3年度の2年間は交流活動に大きな制限を受け、活動が初期段階にとどまっていること。
- ・ また協力隊期間終了後、森林組合職員としての通常業務をしながら現在行っている活動を継続していくのは現状では難しいと思われること。
- ・ 森林組合の業務も行うため、協力隊である方が人件費の面でメリットがあること。

以上の理由から、動き出しているプロジェクトを実りあるものにするためにも、2年間の地域おこし協力隊活動期間延長を希望します。

期間延長が認められた場合、来年度の活動予定としては今年度活動の継続発展とともに、着任当初から計画していた「根羽村森林・林業ミーティング開催」「空き家を活用した知の拠点づくり」など「共有と議論」フェーズの活動も実行に移していきたいと思っている。